

TSUDOI

スタンダードプラン 月次分析レポート

TSUDOIはブロックチェーンと仮想通貨に特化した情報配信サービスです。

本レポートコンテンツ

◆TOP銘柄分析ガイド

TSUDOIで集計・分析する、複数の有名格付け機関によるスコア評価

◆『狙い目：中堅銘柄』発掘ガイド


仮想通貨業界全体のトレンド銘柄分析

◆『大穴：新規銘柄』発掘ガイド

VC出資先分析に基づく、注目新規銘柄情報、CMC新規リスト銘柄分析

このレポートはTSUDOIの有料サービス、スタンダードプランの加入者専用の情報です。レポートの内容は個人的な使用のみを対象としており、商業的な利用は事前の許可が必要です。

レポートの読み方については、一覧に含まれる [「必見！成功へ導く3つの仮想通貨投資術」](#) をご覧ください。

 **とは** TSUDOIリサーチチーム内で、関連ニュースから中長期的に注目を集めると予想した銘柄に Goodマークとして表示しています。



有料
レポート

2024年3月末~4月末 仮想通貨業界市場動向

◆ 業界全体の時価総額 推移

2024年3月末から4月末にかけての仮想通貨市場は全体的に下落傾向にありました。3月末の時価総額は約17兆円（2.6兆ドル）でしたが、4月末には約15兆円（2.3兆ドル）にまで減少し、この1ヶ月で市場全体が約10.86%の下落を記録しました。

また、基軸通貨であるビットコイン（BTC）の価格動向も同様に、1BTCあたり71,307ドルから63,856ドルと推移しており、約10.45%の価格下落が見られました。



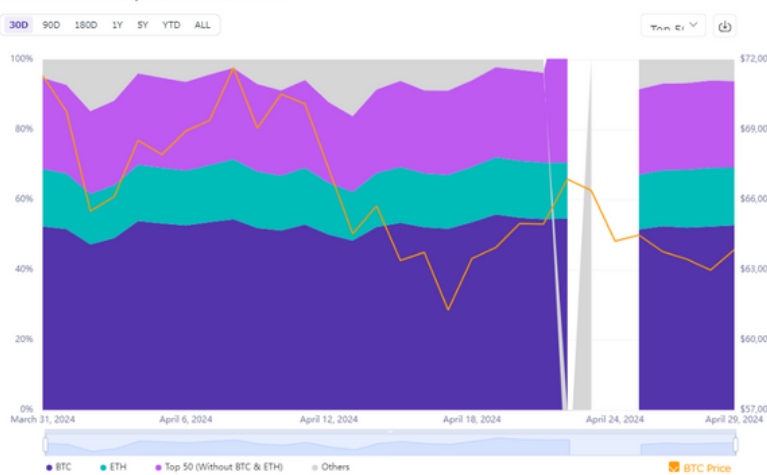
※TokenInsight調べ

◆ ドミナンス推移

2024年3月31日から4月29日までの仮想通貨市場におけるBTC、ETH、Top 50（BTCとETHを除く）、その他の通貨（Top 50以降）の市場支配率の推移を要約します。

ビットコイン（BTC）の市場支配率は、3月31日に52.41%から始まり、4月20日には54.85%まで上昇しました。しかし、月末には52.71%に減少し、相対的に安定した推移を見せています。

Bitcoin Market Cap Dominance Chart



※4/23、24のデータは未集計となります。

特に注目すべき点として、4月20日に**ビットコインとイーサリアムの合計市場支配率が71.10%に達しました**。この日、その他のTop 50以下のアルトコインは市場全体の28.90%となり、**多くのアルトコインが価格下落を経験しています**。

これは、Top 2 銘柄であるBTCとETHに資金が集中すると、アルトコイン市場が影響を受けやすいことを示しています。

日付	BTC市場割合	ETH市場割合	Top 50市場割合 BTC & ETHを除く	その他
2024-03-31	52.41%	16.36%	26.04%	5.19%
2024-04-13	48.35%	13.85%	21.64%	16.17%
2024-04-20	54.85%	16.25%	25.93%	2.97%
2024-04-29	52.71%	16.46%	24.69%	6.15%

※TokenInsight調べ

GOODマーク付き銘柄 2024 4月集計結果

トップ銘柄 分析ガイド 4/26

一般に、BTCの価格が下がる際には、アルトコインはBTCよりも大きく値下がりすることが多いです。これはアルトコインのリスクが高いことを意味します。しかし、市場が上昇する時には、アルトコインはBTCを上回る値上がりを見せることがあります。このため、BTCが下落している時にアルトコインのパフォーマンスを月単位で評価すると、成績が悪く見えることがあります。

4月1週目~4月4週目までの週次レポートにて選定された12つのTOP銘柄の中から5つのTOP銘柄にGoodマークを付与いたしました。

※この評価は、毎週金曜日に配信される週次レポート作成時または、月次レポート作成時に、過去に配信された銘柄の価格動向を記録した情報を基に行われます。

今月は1か月を通して、BTC価格が▽8.11%下落しており、アルトコイン価格もBTCに引っ張られる形で全体的に下落傾向にあります。

今月のGoodマークTOP銘柄の成果は、5銘柄中1銘柄が価格高騰、さらにはBTC価格の推移よりも高パフォーマンスを出した銘柄は、1銘柄ほどありました。

TSUDOI分析レポート マーク銘柄一覧

レポート掲載日付	プロジェクト	上昇率
4/19	 Core	▲40%超 (23日比較)

GOODマーク付き銘柄 2024 4月集計結果

『狙い目：中堅・大穴：新規銘柄』発掘ガイド 4/26




4月1週目～4月4週目までの週次レポートでは、12つの狙い目：中堅銘柄と、5つの大穴：新規銘柄を詳細に分析しました。

※この評価は、毎週金曜日に配信される週次レポート作成時または、月次レポート作成時に、過去に配信された銘柄の価格動向を記録した情報を基に行われます。

今月は、1カ月を通して、**BTC価格が▽8.11%下落**しており、アルトコイン価格もBTCに引っ張られる形で**全体的に下落傾向**にあります。

『狙い目：中堅・大穴：新規銘柄』に掲載した中堅銘柄12つ、新規銘柄5つの中から、TSUDOIチームの方では、7銘柄ほど中長期的な成長の可能性を持つと判断し『👍』を付与しております。

また、**7銘柄中3銘柄が、BTC価格の推移よりも高パフォーマンスを出しております。**

レポート掲載日付	プロジェクト	上昇率
4/5	 Biconomy	▲12.29% (翌週)
4/5	 Ethena	▲59.22% (翌週)
4/26	 Metis	▲6.05% (29日比)

一口メモ

BTC価格が1週目から2週目にかけて8.03%増しており、Biconomy,Ethenaの価格高騰もこのタイミングとなり、冒頭の通り、BTC価格の推移にアルトコイン全体が引っ張られる形となっております。

4週目にGoodマークを付けたMetisについては注目要因を9ページ「リサーチ担当のコメント」に纏めます。

GOODマーク付き銘柄 有効的な投資戦略紹介

下記シミュレーションは、週次分析レポート発行日に『👍』マークを付与した狙い目銘柄、大穴銘柄を下記投資戦略に基づき50万円ずつ購入&売却を繰り返し、決められた元本内で再投資を行うシミュレーションとなります。下記のように投資戦略上のルールを作成し投資をすることも、リスク管理と効率的な資産運用を実現する手法の一つとしてご覧ください。

投資条件の概要

- 予算: 250万円 ※ご自身の予算に合わせて調整して下さい。
 - 下記投資戦略に基づき、1銘柄あたり50万円で購入 ※予算を20%毎,5分割し投資
- 投資戦略:
 - 分析レポート発行日に、『👍』マーク狙い目銘柄もしくは大穴銘柄へ投資
 - 元本が不足した週は追加投資は行わず見送る
 - トークン価格が購入時から30%以上増加した場合、その利益の30%を残し、元本を最も近い週の『👍』マーク狙い目銘柄もしくは大穴銘柄へ再投資
 - トークン価格が購入日から30%以上減少した場合、その銘柄を損切りし、元本を再投資

2023年11月から始めた場合

銘柄名	投資日	利確日	損切り日	初期投資額	各Token利益額 (4/29現在)	損切り額
ORDI	11/10	12/8	-	¥500,000	¥455,362	-
Arkham	1/26	2/24	-	¥500,000	¥776,381	-
Starknet	3/8	-	4/19	¥500,000	-	¥150,000
etc...	etc...	etc...	etc...	etc...	etc...	etc...

投資実績：利回り: 102.06%(元本を含めない利益)














- 投資期間: 2023年11月～2024年4月
 - 利益: 2,551,571.79円
 - 利回り: 102.06%(元本を含めない利益)
 - 利確された銘柄数: 通算8銘柄
 - 損切りされた銘柄数: 通算5銘柄
 - 今月は、3週目でBTCの下落と共に保有していた全銘柄が損切りされました。
- 過去13の投資銘柄
 - ORDI,Celestia,Blur, Arkham, Terra Classic, Ethereum Name Service, Xai, Manta Network, Ondo, Starknet, Manta Network, Metis, Arkham
- 現在保有している3銘柄: Omni Network, Metis, Merlin Chain




4月週次レポート掲載 TOP銘柄 継続分析ガイド

トップ銘柄 分析ガイド 4/26

この分析ガイドでは、4月の週次レポートにて記載された価格が急上昇したTOP銘柄に焦点を当てています。それぞれの銘柄について、レポート掲載時から月末までの時価総額ランキングの推移や、複数の海外格付けサイトの情報を基にしたTSUDOI独自の評価を紹介しています。これらの通貨は、100点満点での信頼性スコアとして、下記一覧の右側に記載されています。

TSUDOI週次分析レポート掲載銘柄一覧

調査日時	CMC Rank	プロジェクト	カテゴリー	直近30日間の値上がり率	トークン価格 (4/26現在)	取引量ランク/24H	スコア
4/4	#29→#29	 Mantle 	Layer2	▲28.33%	¥173.22	#95→#100	70(±0)
4/4	#37→#43	 Maker	DeFi	▼11.84%	¥441,992.29	#80→#99	80(±0)
4/4	#46→#51	 Core 	Layer1	▲156.30%	¥351.96	#29→#71	76(±0)
4/11	#9→#9	 Toncoin 	Layer1	▲8.16%	¥834.53	#19→#37	77(+1)
4/11	#45→#47	 Theta Network	Layer1	▼22.28%	¥382.94	#98→#88	56(±0)
4/11	#48→#50	 Fantom	platform	▼28.36%	¥119.55	#22→#36	56(±0)
4/18	#9→#9	 Toncoin	Layer1	▲8.16%	¥834.53	#26→37	77(+1)
4/18	#13→#13	 TRON	Layer1	▼3.03%	¥18.23	#27→#23	56(±0)
4/18	#49→#51	 Core 	Layer1	▲156.30%	¥351.96	#38→#71	76(±0)

調査日時	CMC Rank	プロジェクト	カテゴリー	直近30日間の値上がり率	トークン価格(4/26現在)	取引量ランク/24H	スコア
4/25	#17→#17	 NEAR Protocol	Layer1	▼3.87%	¥1,138.06	#18→#15	68(±0)
4/25	#26→#27	 Stacks	Bitcoin Ecosystem	▼23.89%	¥411.15	#68→#68	56(±0)
4/25	#49→#48	 Arweave	storage	▼16.99%	¥5,328.44	#98→#61	56(±0)

月次レポート及び、週次レポートの使い方について

今月の週次レポートにおけるGoodマークが付与されたTOP銘柄のうち、Mantle, Core, Toncoin, Stacksのうち、3銘柄は、先月の週次レポートにおいて、既にGoodマーク付きのTOP銘柄としてピックアップされている銘柄となります。

これらの銘柄がなぜ話題を集めているかを月次及び週次レポートの考察をご覧ください、投資家の皆様により深く理解するための分析情報としてレポートを配信させていただいております。

トップ銘柄 スコア調査ガイド

スコア調査ガイドでは、海外の様々な格付けサイトから情報を集めて、TOP銘柄を評価しています。これらの格付けサイトは、プロジェクトの進行計画と現状、トークンの経済的側面、プロジェクトチーム、ビジネスパートナーや投資家、エコシステムの成長、トークンの市場パフォーマンス、技術基盤とセキュリティ、全体的な市場での成績、技術の採用状況など、多面的な観点からの情報を提供しています。

TSUDOIのスコアは、これらのサイトから収集した情報を元に、各プロジェクトの全体的な強みとリスクを評価し、100点満点でスコアを付けます。このスコアを前月のデータと比較し、総合的な評価をおこなっています。

スコアの読み方

トップ銘柄の仮想通貨は、このスコアが安定しており、4点以上の大きな変動がある場合は、そのプロジェクトの健全性を再評価する指標として使っていただければと考えています。

4月の時価総額TOP50銘柄の本スコア推移

上記、基準にて3月の調査を行ったところ、今月は、IOTA+4点、TUSD +4点上がっており、主にトークンのパフォーマンスを中心としたエコシステムが活性化されておりました。

※TSUDOI分析レポートで過去に掲載した銘柄のスコアを調査しております。











4月週次レポート掲載 中堅銘柄 継続分析ガイド

『狙い目：中堅銘柄』 発掘ガイド 4/26

本分析ガイドは、Coinmarketcap（CMC）の時価総額ランキング50～400位に位置する『狙い目：中堅銘柄』に焦点をあてた情報を提供するものです。週次レポートに記載いたしましたCMCサイト内、検索トレンド中堅銘柄に関する月末時点での経過調査となります。

週次 検索トレンドの経過調査一覧

作成日4/26

調査日時	CMC Rank	プロジェクト	カテゴリー	取引量 ランク/24h	直近1カ月の トークン価格上昇率
4/4	#138→#177	 Biconomy 	platform	#111→#339	▼12.06%
4/4	#139→#163	 Raydium	DEX	#102→#311	▼28.80%
4/4	#352→#440	 Maverick Protocol	DeFi	#155→#445	▼36.08%
4/11	#158→#177	 Biconomy	platform	#199→#339	▼12.06%
4/11	#240→#259	 ICON	platform	#465→#447	▼31.72%
4/11	#393→#359	 Zignaly	platform	#477→#575	▼4.61%
4/18	#102→#101	 IOTA	IoT	#257→#264	▼35.49%
4/18	#168→#177	 Biconomy	platform	#304→#339	▼12.06%
4/18	#369→#359	 Zignaly	platform	#416→#575	▼4.61%

調査日時	CMC Rank	プロジェクト	カテゴリ	取引量 ランク/24h	直近1カ月の トークン価格上昇率
4/25	#96→#97	 Gnosis	platform	#243→#256	▼8.41%
4/25	#177→#178	 Metis 	Layer2	#237→#282	▼38.89%
4/25	#257→#259	 ICON	platform	#351→#447	▼31.72%

上記『狙い目：中堅銘柄』に関する最新のトークン価格への影響が予想される話題についての調査結果をPick Up!!

Biconomy : BICO

※本銘柄は、4月1週目の週次レポートにて、『狙い目：中堅銘柄』としてGoodマークを付与している銘柄となります。

注目ポイント：アカウント抽象化分野で複数のパートナーシップを締結。第一四半期の実績発表による信頼度増
4月1・2・3週目と連続3度ほど検索トレンドに取り上げられるほど注目されている銘柄となります。注目要因は、**前回と引き続き、継続して先週もアカウント抽象化分野で複数のパートナーシップの締結**をしております。また、2024年第一四半期のハイライトが発表されており、**約500万回のユーザーオペレーションを処理、アカウントのアクティベーションが81万5000以上、「AA (Autonomous Agents)」を利用してメインネットに580以上のdappsが導入という成績**を取っており、これらの数字から、その銘柄の急速な成長と市場での影響力がうかがえます。

リサーチ担当のコメント

直近、先月もGoodマークを付与している**Metis**について、**4月4週目にも改めてGoodマークを付与しています**。先月は、経済圏を広げるための巨額の資金を準備している点が注目要因の1つでした。今月はその具体的な開発進捗として、本銘柄の特徴でもある分散型シーケンサという仕組みの導入とコミュニティガバナンスを始動させており、両者とも**本銘柄にとって重要な進捗となるため、改めてGoodマークを付与**しています。また、Goodマークこそ付けておりませんが、**4月2・4週目と検索トレンド上位にランクインしているICONについても、時価総額でトップ50に位置するInjectiveとの統合を行ったことが、その評価に影響を与えるかどうかは注目のポイントです**。この統合がどのような結果をもたらすかは今後の成果に注目し、継続的にチェックすることが重要になってきます。




有名VCによる 資金調達最新情報分析

『大穴：新規銘柄』 発掘ガイド 4/29

2024年4月1日～4月29日までの期間において、仮想通貨業界における大手ベンチャーキャピタル (VC) の出資実績を詳細に調査し、大穴：新規銘柄を分析します。

今月の主な業界の資金調達プロジェクト数は159社となり、大手VCからの出資を受けたプロジェクトは36社となります。下記は大手VCから出資を受けた銘柄の中でTSUDOISTAFFが注目する3つのプロジェクトとなります。

※大手VCについては投資資金の大きいTOP20を対象としております。

プロジェクト名	カテゴリー	調達ラウンド	金額	大手VC一覧	融資日	注目度 (3点満点中の評価)
 <u>Mezo</u>	BitcoinLayer2	シリーズA	\$21.00M	Pantera Capital Multicooin Capital Hack VC etc...	4/9	事業モデル ★★★(2.5) メンバー ★★(2.0)
 <u>Berachain</u>	DeFi Infrastructure	シリーズB	\$100.00M	BH Digital Framework Ventures Polychain Capital Hack VC etc...	4/12	事業モデル ★★(2.0) メンバー ★☆(1.5)
 <u>Usual</u>	DeFi	未公開	\$7.00M	IOSG Ventures Kraken GSR etc...	4/17	事業モデル ★(1.0) メンバー ★★★☆(2.5)

4月の資金調達事情について

今月のブロックチェーン業界では、資金調達総額が **前月と同様に約1.2 billion USD (約1897億円) を維持**しております。資金調達の案件数は減少傾向にありますが、案件数では業界インフラストラクチャー分野とDeFi分野がそれぞれ全体の25%を占める形で、50%を担っています。案件数を比べると直近DeFi分野が成長し、インフラ分野に追いつきました。この傾向が継続することにより、DeFiサービスの成熟度は増していき、DeFiと連動したGameFiやSocialサービスなどの新たな分野の盛り上がりが見込まれます。

Mezo

分野：BitcoinLayer2

トークン名：MEZO

◆ トークン未発行

LED BY **PANTERA**

PARTICIPATION FROM **Multicoin Capital**

Hack VC **DRAPER ASSOCIATES**

Mezo, a Bitcoin Layer2 network, provides users with access to applications that enhance the utility of Bitcoin tokens.

CryptoRank.io/Funding-Rounds CryptoRank_VCs CryptoRank_Fundraising cryptorank

01. 概要 Bitcoin Layer2ネットワーク

Mezoは、ビットコインの利用価値を拡張するプロジェクトであり、ビットコインの持つ基本的な価値に焦点を当てています。このプロジェクトは、ビットコインの経済層（Bitcoin Economic Layer）を構築し、目標として世界の経済活動の25%をビットコインのブロックチェーン上で行うという野心的なビジョンを持っています。このプロジェクトは、ビットコインの基本的な価値を生かしながら、ビットコインの使用方法を革新し、より多くの人々がビットコインを日常的に利用できるようにすることを目指しています。

02. 運営メンバー

CEO：Matt Luongo氏

本プロジェクトを開発する「Thesis」という会社をおよそ10年ほど牽引しており、以前、「Agency Spotter」でテクニカルリード、「Scholrly」でCTO（最高技術責任者）など4社ほど開発分野での実績を積んでいます。

その他のコアメンバーとしてCOOには、ConsenSysでの3年ほど、グローバルオペレーションズのディレクターとしての経歴をもつCarolyn氏などが所属しています。

リサーチ担当のコメント

事業モデル ★★☆(2.5)

プロジェクト「Mezo」が提案する Bitcoin Layer 2ソリューションは、ビットコインの経済圏を拡大し、その利用を日常生活に密接に結びつける試みとして注目に値します。 特に2024年は、ビットコインの半減期とETFの承認などのイベントにより、Bitcoinの展開は市場に新たな動きをもたらす可能性があります。ただし、これらの技術はまだ開発初期段階と投資家から認識されることも多く、実際に 多くの課題が存在します。 特に、ビットコイン取引をチェーン外で行うことに関連するセキュリティリスク、プライバシーの懸念、および集中化のリスクが指摘されています。

メンバー ★★(2.0)

マット・ルオンゴ氏を含むMezoプロジェクトのチームは、技術的な知識と経験に富んでおり、プロジェクトの技術目標を達成するための強い基盤を持っています。 しかし、Bitcoin Layer2という新しい分野で一般ユーザーを引き付け、教育するための戦略や、プロジェクトの広範な受け入れを促進する施策については、まだ明確ではない部分が存在します。特に、独自トークンの経済圏を効果的に管理し、その価値を維持する力量については、今後のプロジェクトの展開を慎重に観察する必要があります。

Berachain

分野：DeFi Infrastructure

トークン名：BGT(Bera Governance Token)

◆ トークン未発行

※上記はガバナンストークンとなり、本プロジェクトではその他トークンとして、BERA, HONEY も展開

Berachain

RAISED: **\$100M**
Series B

Berachain is an EVM-compatible layer 1 blockchain, built using the Cosmos SDK, and secured by the novel Proof-of-Liquidity Consensus Protocol.

LED BY: **Framework** BREVAN HOWARD

PARTICIPATION FROM

POLYCHAIN CAPITAL **HASKEY** **TRIBE CAPITAL**

arrington XRP CAPITAL Hack VC NOMAD CAPITAL Laser Digital

SAMSUNG NEXT **HYPERSPHERE** **CYPHER** **rubik ventures**

ANGELS

Sandeep Nailwal Investor Yat Siu Investor Annika Lewis Investor Bo Feng Investor

CryptoRank.io/Funding-Rounds CryptoRank_VCs CryptoRank_Fundraising cryptorank

01. 概要 Cosmos SDKベースのEVM互換ブロックチェーン

Berachainは、Proof-of-Liquidity（流動性証明）という新しい合意形成メカニズムを採用した、高性能なEVM（Ethereum Virtual Machine）互換ブロックチェーンです。このテクノロジーは、Polarisという独自のブロックチェーンフレームワーク上に構築されており、EVM互換チェーンを構築するための基盤となっています。Berachainプロジェクトでは、異なる目的のために三種類のトークンが設計されています。BERAは、ブロックチェーン上で取引を行う際に必要な手数料（ガス代）を支払うためのトークンです。BGTは、ガバナンストークンであり、プラットフォーム上での流動性を提供することで獲得できます。最後に、HONEYはステーブルコインで、その価値は1 USDCに相当するように設定されており、価格の安定性が求められます。

02. 運営メンバー

匿名の4人の創設者（Smokey the Bera、Papa Bear、Homme Bera、Dev Bear）

Berachainは、2015年から活動する匿名のDeFiプレイヤー4人によって創設されました。彼らはDeFi分野での豊富な経験を持ち、パブリックチェーンの問題点を発見しました。特に、トークンインセンティブに依存することで生じる流動性の問題に着目し、これを解決するためPoLメカニズムを提案。初のプロジェクトとして、「Bong Beras」というNFTが意外な支持を受け、これを契機に流動性の高いパブリックチェーン「Berachain」の創設へと進みました。技術面では、Polarisチームと協力し、Cosmosベースの高性能L1チェーンを開発しています。

リサーチ担当のコメント

事業モデル ★★(2.0)

EVM互換を目指しているBerachainは、Ethereumのアップデート後の状況を利用して、多くのEthereum上のDappsに対して、不足している部分などを補う形で市場にアプローチするチャンスがありそうです。ただし、他のブロックチェーンプラットフォームも同様のチャンスを伺っているため、競争に勝ち切るプロジェクトの自力が必要になります。

メンバー ★☆(1.5)

Berachainのチームは、匿名性を活かしてDeFi分野で革新的なアプローチを実現しており、その点で高く評価されるべきです。一方で、その匿名性がもたらす信頼性の問題や説明責任の欠如は、プロジェクトの持続可能性や成長にとって潜在的なリスクです。将来的には、コミュニティとの信頼関係をさらに深めるために、透明性を高める取り組みが求められるでしょう。

Usual

分野：DeFi, RWA

◆ トークン未発行

USUAL

LED BY **iOSG VENTURES** **kraken VENTURES**

PARTICIPATION FROM **HYPERSPHERE** **TRGC** **GSR**

MANTLE **STARKWARE**

LBANK **xventures** **kima ventures**

BREED **Bing Ventures**

PSALION VC

cryptoRank

RAISED: **\$7M**
Strategic

Usual is a fiat-backed stablecoin protocol set to launch USD0, a permissionless and fully compliant stablecoin backed 1:1 by real-world assets (RWAs)

[CryptoRank.io/Funding-Rounds](https://cryptorank.io/Funding-Rounds) [CryptoRank_VCs](https://cryptorank.vcs) [CryptoRank_Fundraising](https://cryptorank.fundraising)

01. 概要 実物資産に裏付けられたUSD0を開発する『Usual Labs』

フランスのUsual Labsは、分散型金融プロトコル「Usual」を運用しており、リアルワールドアセットに裏打ちされる新ステーブルコインUSD0の立ち上げのため、7百万ドルを調達しました。また、このプロジェクトは総額75百万ドルのTVLを確保しています。USD0保持者は関連資産から得られる収益を受け取ることができます。このステーブルコインは、イーサリアムメインネットでのプレローンチを第2四半期に予定しており、安全性と効率を確保するための準備が進行中です。

02. 運営メンバー

Usual Labs founder and CEO : Pierre Person 氏

2017年から2022年までフランス国民議会のパリ第6選挙区の議員として活動し、エマニュエル・マクロン大統領の側近として知られています。政治活動においては、ブロックチェーンと暗号資産に関する議会任務の共同報告者を務めるなど、デジタル資産の規制と政策形成に関与しました。この経験は、ステーブルコインプロジェクトの推進に必要な専門知識とリーダーシップを持っていることを示しています。

リサーチ担当のコメント

事業モデル ★(1.0)

UsualがRWA（実物資産）に裏付けられたステーブルコインの立ち上げを試みることは、新たな金融サービスの展開として期待されますが、現在の金融資産に関する規制が迅速にこれに追いつくのは困難であり、そのため規制のリスクがビジネスを制限する可能性があるという点に注意が必要です。

メンバー ★★☆(2.5)











Pierre Person氏の政治的経験と広範なネットワークは、他にない強みとして活かされるという期待を持つことができる一方で、ビジネス側での経験とは異なり、技術的専門知識が必ずしも最先端でない可能性がある点や、ビジネスと政治のバランスを保ちながら事業を推進させる難しさについてはリスクとなるでしょう。

4月週次レポート掲載 新規銘柄 継続分析ガイド

『大穴：新規銘柄』発掘ガイド 4/25

2024年3月22日から4月25日までの期間において、CMCで新規リストされ、時価総額ランク50位から400位の間にある『大穴：新規銘柄』の月末時点での経過調査となります。

CMC新規リスト銘柄【4月時点】

調査日時	CMC Rank	プロジェクト	カテゴリー	時価総額	トークン価格 (掲載~4/26比較)	24時間 取引量ランク
4/4	#67→#71	 Ethena 	DeFi	¥192,536,672,421	¥135.10 ▼23.5%	#8→#26
4/4	#208→#76	 Wormhole 	DeFi	¥173,743,191,691	¥96.42 ▼50.67%	#12→#32
4/11	#153→#192	 Saga 	Layer1	¥51,526,137,668	¥572.15 ▼36.63%	#25→#65
4/18	#227→#266	 Omni Network 	Layer1	¥34,490,718,689	¥3,317.01 ▼18.53%	#21→#101
4/25	#297→#305	 Merlin Chain 	Bitcoin Ecosystem	¥28,504,022,072	¥125.85 ▼8.00%	#110→#89

Pick Up !

Wormhole : W

※本銘柄は、4月1週目の週次レポートにて、『大穴：新規銘柄』としてGoodマークを付与している銘柄となります。

注目ポイント：4/25 重要なマイルストーンを発表：Native Token Transfers (NTT) の実装

WトークンはWormhole Native Token Transfers (NTT) の実装により、Solana、Ethereum、Arbitrum、Optimism、Baseでネイティブなマルチチェーン化を実現しました。これにより、異なるブロックチェーン間でトークンをシームレスに転送できるようになり、Wの利便性とアクセシビリティが向上します。投資家の利点としてNTTの導入により、各チェーン間の移行時に行っていたブリッジを介して発生する流動性の分散や価格差が解消され、より統一された市場条件でトークンを扱うことが可能になります。

Omni Network : OMNI

※本銘柄は、4月3週目の週次レポートにて、『大穴：新規銘柄』としてGoodマークを付与している銘柄となります。

注目ポイント：4/22 重要なマイルストーンを発表：Omni Armageddonの実装

Omni Armageddonは、EigenLayerでのリステーキングを通じて、ユーザーはETHや流動性のあるステーキングトークンを使用して、EigenLayerプラットフォームでリステーキングすることができます。このプロセスを通じて、ユーザーは直接Omniのセキュリティ強化に貢献することが可能となります。

このシステムの導入により、投資家はリステーキングされた資産をOmniに委任し、ネットワークの安全性向上に直接貢献することができます。これにより、より安全で効率的なエコシステムが形成され、投資の信頼性と潜在的なリターンが向上します。

引用元：

本レポートにおけるデータおよび分析は、以下の情報源を基にしています。

- CoinMarketCap : <https://coinmarketcap.com/>
- CoinCarp : <https://www.coincarp.com/>
- Messari : <https://messari.io/>
- TokenInsight : <https://tokeninsight.com/>

注意事項

本レポートは、投資助言を提供するものではありません。提供される情報は、一般的な解説に限定されており、個別の投資判断に直接適用するものではありません。投資に関する最終決定とその結果について、当方は一切の責任を負いません。

レポートの内容は個人的な使用のみを対象としており、商業的な利用は事前の許可が必要です。商業利用に関するお問い合わせは下記よりご連絡ください。

発行元：TSUDO I

メールアドレス：info@sigmainc.co.jp

ウェブサイト：<https://tsudo-platform.co.jp/>